

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【公開番号】特開2017-39013(P2017-39013A)

【公開日】平成29年2月23日 (2017.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-008

【出願番号】特願2016-232123(P2016-232123)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

G 0 9 F 3/03 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

G 0 9 F 3/03 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月26日 (2017.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、
前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とする封印シールと、
前記第 1 部材に設けられた第 1 封印シール貼付部と、
前記第 2 部材に設けられた第 2 封印シール貼付部と、
 を備え、
 前記封印シールは、
 該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用
 された痕跡を残す溶剤使用特定部と、
該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤
発色部と、
該封印シールの識別情報が目視にて読み取り可能に表示された第 1 識別情報表示部及び
該封印シールの識別情報が符号化されることにより所定の読取装置にて読み取り可能な第
2 識別情報表示部と、
 を有し、
前記第 2 識別情報表示部は、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないも
のであり、
前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化により発色する色とは異なる色に発色し、
前記溶剤使用特定部は、第 1 溶剤が用いられたときに該第 1 溶剤が使用された痕跡を残
す第 1 溶剤使用特定部と、前記第 1 溶剤とは種類が異なる第 2 溶剤が用いられたときに該
第 2 溶剤が使用された痕跡を残す第 2 溶剤使用特定部と、を含み、
前記封印シールは、
前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたとき
に前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部との境界部に位置しない部分に

前記溶剤使用特定部が配置され、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部または前記第 2 封印シール貼付部のいずれかに対応する部分に前記第 2 溶剤使用特定部と前記第 2 識別情報表示部とが配置される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技を行うことが可能な遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、この種の回路基板を、ベース体（第 1 部材）とカバー体（第 2 部材）とからなる基板ケースに収納するとともに、封印シールを貼付することにより開封された場合にはその痕跡が残るように封止状態とすることで、回路基板に不正行為が行われた可能性があることを容易に発見することができるようにしたものがある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、

回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、

前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とする封印シールと、

前記第 1 部材に設けられた第 1 封印シール貼付部と、

前記第 2 部材に設けられた第 2 封印シール貼付部と、

を備え、

前記封印シールは、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を残す溶剤使用特定部と、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤発色部と、

該封印シールの識別情報が目視にて読み取り可能に表示された第 1 識別情報表示部及び該封印シールの識別情報が符号化されることにより所定の読取装置にて読み取り可能な第 2 識別情報表示部と、

を有し、

前記第 2 識別情報表示部は、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、

前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化により発色する色とは異なる色に発色し、

前記溶剤使用特定部は、第 1 溶剤が用いられたときに該第 1 溶剤が使用された痕跡を残す第 1 溶剤使用特定部と、前記第 1 溶剤とは種類が異なる第 2 溶剤が用いられたときに該第 2 溶剤が使用された痕跡を残す第 2 溶剤使用特定部と、を含み、

前記封印シールは、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部との境界部に位置しない部分に前記溶剤使用特定部が配置され、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部または前記第 2 封印シール貼付部のいずれかに対応する部分に前記第 2 溶剤使用特定部と前記第 2 識別情報表示部とが配置される

ことを特徴としている。

本発明の手段 1 の遊技機は、

所定の遊技を行うことが可能な遊技機（例えば、スロットマシン 1 / パチンコ遊技機 1 0 0 1）であって、

前記遊技機の背面側（例えば、筐体 1 a の内部 / パチンコ遊技機 1 0 0 1 の背面）に設置される複数の電気部品（例えば、各種スイッチ、センサ、ソレノイド、モータ、LED 等）と、

前記複数の電気部品を電氣的に接続する配線（例えば、ケーブル 6 0 0 a ~ 6 0 0 c、6 0 0 k / ケーブル 1 7 0 0）と、

回路基板（例えば、遊技制御基板 4 0 / 主基板 1 0 3 1）を収納する第 1 被覆体（例えば、ベース部材 2 0 1 / ベース部材 1 2 0 1）及び第 2 被覆体（例えば、カバー部材 2 0 2 / カバー部材 1 2 0 2）からなる基板ケース（例えば、基板ケース 2 0 0 / 基板ケース 1 2 0 0）と、

前記第 1 被覆体と前記第 2 被覆体とを封止状態（例えば、基板ケースが開封されたらその痕跡が残るように閉鎖した第 2 封止状態）とするために用いられる封印シール（例えば、封印シール 4 0 0 / 封印シール 1 4 0 0）と、

を備え、

前記封印シールは、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を示す溶剤使用表示部（例えば、所定の剥離液（例えば、溶剤 A や溶剤 B など）と接触することにより該剥離液に溶解する特殊インクにて印刷形成された第 1 溶剤使用表示部 4 5 0 A ~ 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 4 6 0 A ~ 4 6 0 D / 第 1 溶剤使用表示部 1 4 5 0 A ~ 1 4 5 0 D、第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D）を有し、

前記基板ケースに貼付されたときに前記配線と重ならない部分に前記溶剤使用表示部が配置され（例えば、図 1 4 に示すように、封印シール 4 0 0 は、基板ケース 2 0 0 に貼付されたときに、遊技制御基板 4 0 の基板側コネクタと配線フック H F やリール中継基板 1 2 0 等の配線保持部とを結ぶ直線に重ならない位置またはその近傍位置に配置されている / 図 2 4 に示すように、封印シール 1 4 0 0 は、基板ケース 1 2 0 0 に貼付されたときに、主基板 1 0 3 1 の基板側コネクタと配線挿通部 1 7 5 0 等の配線保持部とを結ぶ直線上に重ならない位置またはその近傍位置に配置されている）、

前記溶剤使用表示部は、前記封印シールの縁部に設けられている（例えば、図 1 5（a）に示すように、第 2 溶剤使用表示部 4 6 0 A ~ 4 6 0 D は、長辺 L 1 0 及び短辺 L 2 0 に沿って枠状に延設されている / 図 3 3（a）に示すように、第 2 溶剤使用表示部 1 4 6 0 A ~ 1 4 6 0 D は、長辺 L 1 0 及び短辺 L 2 0 に沿って枠状に延設されている）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、溶剤を使用して封印シールの粘着力を低下させようとした場合、該封印シールの溶剤使用表示部に該溶剤が使用された痕跡が残ることで、溶剤を使用して封印シールの粘着力を低下させようとしたことがわかるようになるため、溶剤により剥離した封印シールを再度貼付するといった不正行為を抑制できるとともに、溶剤使用表示部が配線により隠れてしまうことがないので、溶剤使用表示部の視認性が損なわれることが防止される。また、封印シールのうち剥離されやすい縁部に溶剤使用表示部が設けられることで、溶剤が使用された痕跡が残りやすい。